

には、リンクがあります。 は、WAMNETの事業者情報にリンクします。

<b>事業所名</b>	グループホーム 百
日付	平成17年3月31日
	特定非営利活動法人
<b>評価機関名</b>	高齢者と痴呆の人のケアを大切にしたい LIFE SUPPORT推進グループ
評価調査員	在宅介護経験 16年
評価調査員	在宅介護経験 11年
<b>自主評価結果を見る</b>	(まだリンク先はありません)
<b>評価項目の内容を見る</b>	
<b>事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)</b>	

## 外部評価の結果

<b>講評</b>
<p>全体を通して(特に良いと思われる点など)</p> <p>静かな山の中にある施設群の一角がホームの建物で、玄関に入ると、予想に反して、明るく賑やかな声が聞こえてきた。笑顔の利用者と職員が出迎えてくれた。</p> <p>朝10時から、体操や体を動かすゲーム遊びが始まり、全員で賑やかに楽しんでいた。午前中には体を動かす体操や散歩・ボール遊びなど「動」のレクリエーションを、午後のひと時には歌や昔の話し合いなど「静」のレクリエーションを、全員で楽しむのが毎日の日課となっている。その他の時間には、利用者一人ひとりがその人の好きなように過ごす。「調理を手伝う人」「自室で休む人」「ソファに座る人」「人形を抱いて歩いている人」等それぞれの過ごし方をしていた。体調の為に時々自室で休む人以外は、殆どどの人がいつもリビングルームに集まり、気ままに過ごし、職員や利用者同志で話をしたりしていた。その中で利用者は、調理・配膳・洗濯物たたみ等その人ができることを、職員の補助を受けながら、頑張ったり楽しんでおりしている。</p> <p>このように、自由気ままな生活の中に、全員一緒に行動する時間やその人にできる作業を日課に採り入れて、身体機能維持や脳トレーニングをしながら、一日の生活に抑揚をつけている。</p> <p>立派なテレビやカラオケセットも有効に利用していて、この日の午後は、職員も一緒になって、「大きな声でカラオケ大会」が行われていた。とても楽しく活き活きとしたホームだと感じた。</p>
<p>特に改善の余地があると思われる点</p> <p>次のような提案をした</p> <p>トイレが共用で2ヶ所しかないのは少ないように思う。また、そのドアが折り戸になっていて、身体の不自由な人や慣れない人には開閉が難しいと思われる問題。機会があれば増設、改善を望みます。</p> <p>個室のドアにガラスののぞき窓があるのは、明かり取りにはいいがプライバシーに問題がある。スリガラスにしたり、布や色紙などを使って中が見えないように工夫が欲しい。夜間の非常灯の光を室内に入れないことも考える必要がある。</p> <p>リビングの掃き出し窓から出られる庭は一面の広い芝生だが、今はまだ利用していないので大変もったいない。景色のよい外の空気に自由に触れられるように、リビングから自由に入出りできるようにしたり、庭でお茶や食事を楽しむ会をしたりできるようになると素晴らしいと思う。また、フェンス周りには手のかからない鉢花を置き、球根、宿根草などを植えて花を楽しむ事ができればさらに素晴らしい。</p>

## I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
<b>記述項目</b>	グループホームとしてめざしているものは何か		
	<p>その人の持っている能力をできるだけ生かし、その能力を維持していくこと、また、明るい気持ちでゆったりと楽しく過ごせ、家庭のような温かみを感じて貰うことを目指している。</p> <p>ゆとりのある建物、全員で楽しむレクリエーション、繰り返しの話をそばで聞く職員の姿勢などで、それを実現しようとしている。</p> <p>そして、利用者や家族が、ここで過ごせて良かったと感じて貰えるようにすることを目指している。</p>		

## 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり		
4	建物の外回りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
<b>記述項目</b>	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か		
	<p>明るく広いリビングルームからは、山々の景色が見え、晴れやかな雰囲気を作っている。くつろげるソファの傍らにはカラオケセットを、キッチンカウンターの上には薄型の大きなテレビを備え、それらを有効に利用して楽しむようにしている。安らぎの場を作ろうとしている中で、個室の覗く窓は早急に改善を望む。</p> <p>今後、リビングルーム前の広い庭を大いに活用し、利用者が外の空気や植物に触れる機会をどんどん作って欲しい。</p>		

## ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のベースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人でできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		

## III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にされた整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物の支援		
23	痴呆の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
<b>記述項目</b>	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か		
	<p>自由に生活している利用者の穏やかでゆったりとした時間の中にも、職員は利用者をしっかり見守っている。そして、利用者一人ひとりの経歴や個性をよく把握して、その人に合った声かけや、触れ合いを行っている。声かけすることにより、利用者の若い時の話や、家族の自慢話を次々に引き出し、会話の楽しさと、活き活きとした満足感をもたらしめている。</p> <p>また、その人の能力をしっかり把握することにより、生活の中で短期目標・長期目標を作り、能力の維持、改善に努力している。体操を採り入れた「動」「静」のレクリエーションをすることもその一つで、利用者が様々な機能維持改善に喜んで取り組んでいるのはすばらしい。</p>		

## IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
33	家族への日常の様子に関する情報提供		
34	地域との連携と交流促進		
35	ホーム機能の地域への還元		
<b>記述項目</b>	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か。		
	<p>より良いグループホームを目指す為、自主評価を厳しく判定し、それぞれに判定理由を考え、反省していた。外部評価も同様に真摯に受け止めて、改善に取り組もうとしている。</p> <p>その中で残っているのが「鍵」の問題である。居室の掃き出し窓が駐車場に面しているため、鍵をかけなければならないのは、現在の所は止むを得ないかもしれない。今後2ユニットにする計画があるので、その時は、この窓を通して2つのユニットが交流できるように、ウッドデッキや花壇などの空間を作り、鍵の必要をなくして欲しい。</p> <p>もう一つが、地域交流と啓発の問題である。地域的に、一般の住民との交流は難しいので、この法人施設間での交流を持つことで良いのではないかと思う。お互いが刺激し合って良い環境が作られているようだ。</p> <p>しかし、この地域への認知症への理解を深める為の啓発活動を、ホームが法人と共に、今後取り組んでいって欲しい。認知症の高齢者が特別な病気ではなく、「普通の人である」ことを、まず家族から始めて、この地域の社会福祉関係者そして一般の人へと広めていく役割を担って欲しい。</p>		